

“ふるさとちば”のための政策推進を



たけだ正光県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

環境生活警察常任委員長に抜擢

新流山橋流山市部分の用地買収を開始

7月から地元説明会を開催



環境生活警察常任委員長に就任し、
県警本部前に立つ武田正光県議

若手県議の中でも論客としての評価が定着している流山市選出の武田正光(ただだまさみつ)県議は、6月定例会議でも一般質問に登壇。2期目の任期中で早くも5度目の登壇となり、活発な議会活動を展開しています。こうした評価から、6月議会最終日の委員会構成の変更では、新たに環境生活警察常任委員長に抜擢されました。同委員会は、県の環境生活部及び県警本部の所管事項を総合的に審議する委員会です。先の県土整備常任委員長に次ぐ異例の2度目の委員長就任となりました。

6月定例会議会一般質問 流山市特集

武田議員 流山市の人口もつくばエクスプレス開業前の平成17年と平成24年を比較すると、約1万5千人増加。年齢別人口でも30歳代が最も多く増えており、子どもの数、出生率では首都圏の他のエリアと比較しても高くなっています。

今後、この若い力が流山市だけでなく、本県の発展を牽引していくものと期待しているところです。それを現実のものとするためには、より一層の基盤整備が重要となります。つくばエクスプレス沿線の区画整理事業も進展。基盤整備が形として見えてくるようになりそうです。

しかし、流山市内には、江戸川を渡る橋梁は、流山橋1橋しかないため、本県北西部から埼玉県、東京都心へ向かう交通が流山橋に集中する構図となっています。現在の状況では、生活環境の悪化、産業活動の阻害が流山市内だけでなく、本県北西部全体へも悪影響を及ぼしていくものと考えられます。このような懸念に対応すべく、前々から流山市内に江戸川を渡る新たな橋梁(仮称)新流山橋の整備が必要だと訴えてきたところです。

昨年12月定例会議でも質問させていただきましたが、平成25年度から橋梁取り付け区間について、先行的に用地取得に入れるよう努める、との前向きな答弁をいただいています。そこで質問します。新流山橋の現状と今後の見通しはどうか。

武田正光県議 Profile

略歴

- 昭和44年8月9日生まれ
- 昭和57年 流山市立八木南小学校卒
- 昭和60年 流山市立八木中学校卒
- 昭和63年 専修大学松戸高等学校卒
- 平成4年 中央大学商学部卒 公認会計士
- 平成19年 県議会議員初当選
- 平成23年 県議会議員再選 県土整備常任委員会委員長

現職

- 県議会 環境生活警察常任委員会委員長
- 自民党県連 副幹事長 政務調査会審議委員 青年局常任幹事

県土整備部長 江戸川に架かる新流山橋は、東葛飾地域と埼玉県東部地域をつなぐ橋梁であり、県北西部の発展や流山橋周辺の交通の発展に重要な幹線道路であることから、一日も早い完成が望まれております。流山市と連携し、地元の協力を得ながら事業を進め、一刻も早く完成していただくようお願いいたします。

一刻も早い完成を要望

●流山市や県政のご相談、ご要望をお聞かせください 〒270-0163 流山市南流山4-1-8-1105
たけだ 正光 県議事務所 TEL.04-7159-0518 FAX.020-4666-1033

ホームページ たけだ正光 <http://www.takeda-hashiru.com>
 ●たけだ正光ブログもご覧下さい。毎日更新中!! ブログ <http://takedama.exblog.jp/>

お知らせ 武田正光県議の一般質問の質疑の様子は、千葉県議会のホームページから、インターネット中継(録画)でご覧になれます。
[検索](#) [千葉県議会](#) → [議会中継](#) → [平成25年6月定例会議会](#) → [平成25年6月17日\(月曜日\)](#)

東京駅延伸へ積極推進を提言

つくば
エクス
プレス

都心直結線と同時施工を！

関係都県と連携協議

武田議員 地域の成長・発展を推進する効果を持ち、千葉県北西部地域の魅力を高めるつくばエクスプレスの東京駅延伸について、積極的に推進すべきであると考え、県の認識はどうか。

武田議員 都心直結線計画と同時に施工でなければ、県も沿線自治体も多大な費用負担を強いられ、東京延伸の実現性は薄くなり、都心直結線の進捗から見ても、

必要な調査の実施求め

武田議員 都心直結線計画と同時に施工でなければ、県も沿線自治体も多大な費用負担を強いられ、東京延伸の実現性は薄くなり、都心直結線の進捗から見ても、



2期目5度目の登壇をした武田県議

整備の仕組み、事業採算性など多くの課題があります。このため、これらの諸課題について「つくばエクスプレス関係都県連絡協議会」等場で議論に参加してまいりたいと考えています。

武田議員 東京駅延伸を実現させるための第一歩として、必要な実現に向けた「事業の仕組み」や「資金調達のあり方」等の調査を実施しなければなりません。今後県としては東京駅延伸に向けて、各都県、沿線各市と協力して、必要な調査を進めていくべきと考え、その考えがあるかどうか。

武田議員 都心直結線計画と同時に施工でなければ、県も沿線自治体も多大な費用負担を強いられ、東京延伸の実現性は薄くなり、都心直結線の進捗から見ても、

武田議員の要望

国策の都心直結線が思ったよりも早く進んでいる。それに合わせてやらないと大変だ。このタイミングを逃すと厳しいのではないかな。なぜ、都心直結線と同時施工が望まれるかといえ、都心直結線の東京駅予定地とつくばエクスプレスの東京駅予定地が同じ位置だからだ。

秋葉原―東京間が1千億円という膨大な費用がかかり、どついう仕組みになるか分からないが、自治体に

心身障害児者施設 東葛地域に来年開設へ

武田議員 県内の人口密集地域である東葛地域における重症心身障害児者施設の設置は、ご家族にとって長年の悲願となつていまして、東葛地域における同施設整備の進捗状況はどうな

森田知事 東葛地域では重症心身障害児者施設の入所待機者が多いにもかかわらず、施設がないことから、設置の必要性が強く求められています。



自席から立ち上がり再質問する武田県議

少子化対策に危機感訴え！

武田議員 人口減少や少子高齢化といった、非常に大きなスケールの課題に対しては、各種施策を総合的・多層的に融合、かつ推進し、問題の解決へ導いていかなければなりません。

森田知事 人口減少や少子化の進行は、産業の担い手不足の解消や、消費の縮小による経済の停滞、地域の活力の低下など、さまざまな影響が懸念されることから、県としても非常に重要な課題であると認識しています。

要望

少子化対策については、国や他県の状況を踏まえ、横断的な組織で取り組んでまいります。